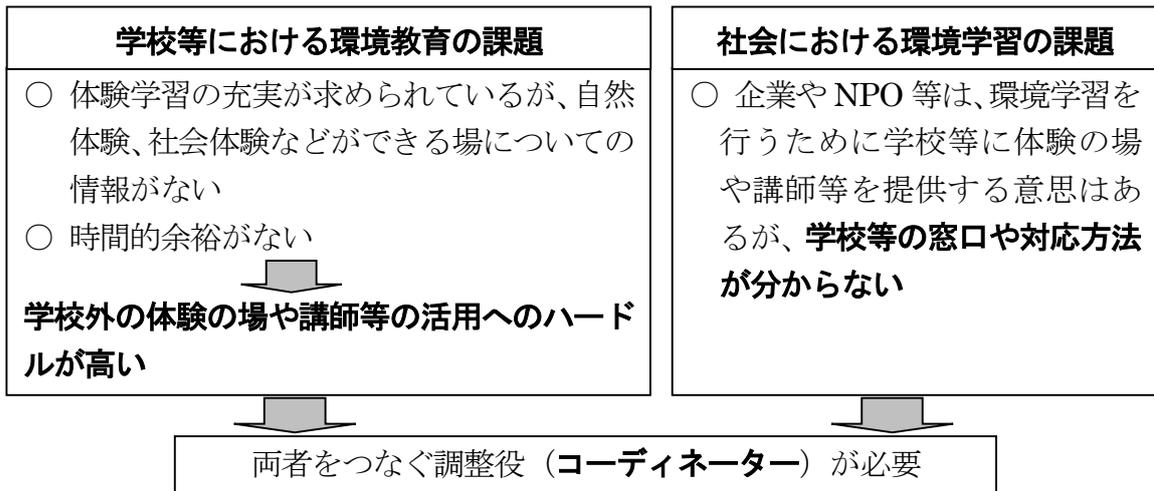


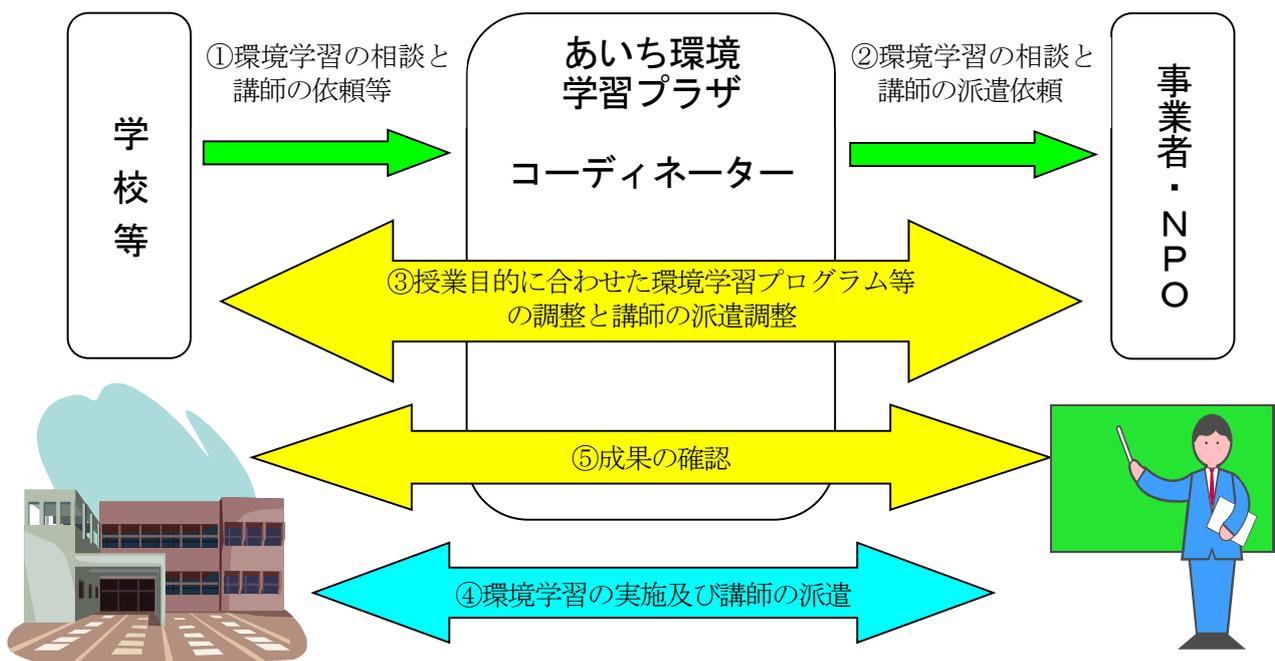
環境学習コーディネーターの活用について



～社会に開かれた教育課程の実現に～

<コーディネーターによる連携・協働サポートの一例>

学校等から授業目的に合わせた環境学習を外部講師により実施してほしいとの相談を受けた場合の対応を例示



- ① コーディネーター（窓口はあいち環境学習プラザ）は、学校等から環境学習に関する依頼・相談を受け、その内容（環境学習の内容、講師派遣、資料提供等）を聴取し、整理・方向付けをする。
- ② コーディネーターは、事業者・NPO等に対して環境学習の内容について連絡し、環境学習の実施及び講師の派遣を打診する。
- ③ コーディネーターは、学校等の授業の目的に合わせた環境学習プログラム等について各主体間を調整して具体化するとともに、学習日程等の調整を行う。
- ④ 事業者・NPO等の講師を学校に派遣し、環境学習を実施する。
- ⑤ コーディネーターは、適宜各主体に対して、不都合な点や満足度を聞き取り、改善する。

(学校関係者用) 環境学習相談・コーディネート依頼書

講師の紹介・打合せ等のため、申込から授業実施までに概ね1~2ヶ月かかります(講師紹介のみを除く)。
授業実施希望日の2ヶ月前までにはお申込みください。

依頼年月日	年 月 日 ()	記入者名	
学校・団体名			
連絡先	所属		
	担当者名		
	住所	〒	
	※電話	※Fax	
	※E-mail	連絡可能な時間帯	(例) 平日 8:00~16:00
※通常希望する連絡手段に○			
ご 相 談 内 容 (詳 細) 《※該当する項目に☑》			
項目 (複数可)	<input type="checkbox"/> 講師の紹介等について <input type="checkbox"/> 学習施設の紹介等について <input type="checkbox"/> 環境学習の企画内容について <input type="checkbox"/> その他(具体的に)		
学習活動での位置づけ	<input type="checkbox"/> 教科() 単元() <input type="checkbox"/> その他(例:遠足での自然体験プログラムの相談等) () <input type="checkbox"/> 他の時間帯に行う関連する学習内容等()		
子どもに学ばせたい知識・態度等			
講師に期待すること・重点的に話してほしいこと			
対象 (複数可)	<input type="checkbox"/> 幼稚園・保育所(歳児) <input type="checkbox"/> 小学校()年生 <input type="checkbox"/> 中学校()年生 <input type="checkbox"/> 高等学校()年生 <input type="checkbox"/> その他(具体的に)		
人数	() クラス 合計 名(備考:内訳等)		
実施時期	第1希望 年 月 日 () (希望時間:) 第2希望 年 月 日 () (希望時間:) 第3希望 年 月 日 () (希望時間:)		
場所	<input type="checkbox"/> 屋内() <input type="checkbox"/> 屋外()		
関連するSDGsの目標 <small>※複数の場合()内に優先順位(第3希望まで)</small>	<input type="checkbox"/> ①() <input type="checkbox"/> ②() <input type="checkbox"/> ③() <input type="checkbox"/> ④() <input type="checkbox"/> ⑤() <input type="checkbox"/> ⑥() <input type="checkbox"/> ⑦() <input type="checkbox"/> ⑧() <input type="checkbox"/> ⑨() <input type="checkbox"/> ⑩() <input type="checkbox"/> ⑪() <input type="checkbox"/> ⑫() <input type="checkbox"/> ⑬() <input type="checkbox"/> ⑭() <input type="checkbox"/> ⑮() <input type="checkbox"/> ⑯() <input type="checkbox"/> ⑰() <input type="checkbox"/> SDGs 全般() <input type="checkbox"/> 特になし		
予算等	講師謝金 <input type="checkbox"/> 有(予算額 円) <input type="checkbox"/> 無 旅費交通費 <input type="checkbox"/> 有(予算額 円) <input type="checkbox"/> 無 その他予算(例:図書カード○○円)		
備考 <small>※その他ご希望を具体的に</small>			
※ご依頼のきっかけをお教えてください	<input type="checkbox"/> チラシ <input type="checkbox"/> web ページ(サイトの名称等:) <input type="checkbox"/> 協働授業づくりハンドブック <input type="checkbox"/> その他()		

送信先 あいち環境学習プラザ
 FAX : 052-916-0516
 メール : kankyo-c@pref.aichi.lg.jp

1. 環境学習コーディネート実施概要 (Web 掲載)

依頼No	4	事例No	4	依頼者	東海市立船島小学校	実施場所	東海市立船島小学校
実施対象	小学6年生2クラス(47名)(クラスごとに実施)						
実施日時	令和4年6月27日(月)9時35分~10時20分、10時50分~11時35分						
テーマ	学校のビオトープ、自然を知るための活動(ビオトープの水を採取し、水質調査を実施する)						

●依頼内容

小学校所有のビオトープを活用した授業の講師を紹介してほしい。

●講師：長谷川 明子 氏 (ビオトープ・ネットワーク中部 会長)

長谷川氏(Ph. D.)は、1級ビオトープ計画管理士の資格を有し、大学や専門学校での講師経験がある。また、自然環境の保全と私たちの暮らしの豊かさとの両立を可能にすべく、執筆や講演会等、自然環境の魅力を楽しく伝える活動に取り組んでいる。2010年に開催された生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)においては、愛知県と名古屋市の生物多様性アドバイザーを務めた。現在、あいちミティゲーション専門家派遣事業(愛知県)の専門家、(公財)日本生態系協会評議員、尾張西部生態系ネットワーク協議会会長等として、幅広く活躍されている。

●授業の内容(授業の構成は2クラス共通)

あいさつと活動 前の準備体操	講師の紹介が行われた後、講師の指導のもと、アクティビティで怪我をしないための準備体操(生物多様性ストレッチ)が行われた。	10分
アクティビティ の説明と実施	講師から、アクティビティの目的や授業の進め方とともに、水の大切さについての説明を行い、行動を開始した。校庭を地球全体にみたと、子どもたちは水の妖精になった気持ちで、サイコロを振り、出た目の指示に従ってビオトープ周辺に設けられた拠点を回りながら、各拠点の指示書に書かれた活動(鳥の声を聞く、お茶を飲むなど)を行った。自然や水に親しんだり、学んだりするとともに、各拠点を達成した特典としてもらえるビーズを集めてひもに通した。	25分
まとめ	アクティビティ終了後、子どもたちは回った水の拠点場所や集めたビーズの数を発表し合い、互いがんばりをたたえあった。講師からは、授業のまとめとして、水は地球規模で見ても有限な資源であり、その循環によって生き物を含めた地球のあらゆる要素がつながっていること、また、私たち人間だけでなく、植物にとっても動物にとっても不可欠な資源であるという話があった。	10分

●授業の様子

当日は、朝から気温が上がったので、アクティビティ中も水分をとる、走らないといった約束事を確認してから授業を始めた。また、熱中症を避けるために、木陰に集合して講師の話の聞いたり、準備体操を行ったりした。子どもたちは、準備体操で風や土、水、動植物等になりきって、両腕を伸ばしたり、ゆらしたり、身体を小さく屈めたりするなど、楽しそうに体を動かしていた。アクティビティでは、9つの拠点すべてを回ろうと何度もサイコロをふる子、効率的に拠点を回る工夫をする子など、それぞれのペースでゲームを楽しんでいた。最後に、水は有限であること、循環していること、人間だけでなくあらゆる生き物にとって不可欠な大切な要素であることといった、まとめの話を聞き、授業を終えた。

準備体操では、風や鳥になりきって身体を動かした。



アクティビティを通して、水の大切さを学んだ。



1. 環境学習コーディネート実施概要 (Web 掲載)

依頼No	12	事例No	8	依頼者	東浦町石浜地区コミュニティ推進協議会	実施場所	東浦町立片葩小学校 家庭科室
実施対象	小学1年生～6年生までの親子 (30名)						
実施日時	令和4年11月6日(日) 10時～11時						
テーマ	地域の歴史や環境問題についての学習の機会を与える						

●依頼内容

東浦町石浜地区にて秋に開催されるイベント内において、親子参加型の実験を伴う環境学習講座を実施したいので、講師を紹介してほしい。

●講師：村瀬政彦 氏 (環境カウンセラー、愛知県地球温暖化防止活動推進員)

村瀬政彦氏は、ごみ・資源循環・3R、エネルギー問題などを専門とされ、愛知県地球温暖化防止活動推進員であるとともに、「あいち地球温暖化対策人材登録・紹介ネット(温暖化まなびネット)」にも登録されている。

●授業の内容

座学	地球温暖化について	講師は、地球温暖化の原因や仕組みについてイラストやグラフを使って解説を行った。また、子どもにも親しみやすく、分かりやすいように、温暖化の影響や現状、将来予測について、シロクマが語るというような工夫がされていた。最後に、温暖化対策を「我慢を強いるもの」としてではなく、私たちの暮らしに「楽しさ」や「快適さ」をもたらすものとして捉えて、「みんなで省エネやSDGsに取り組むことが大切である」という呼びかけがされた。	20分
工作	光の小箱づくり	講義終了後、牛乳パックを使ったリサイクル工作「光の小箱づくり」を行った。「光の小箱づくり」は、まず牛乳パックで四角い枠を作り、その中に筒状に丸めた銀紙を立てて並べ、さらにその表面にカラフルなセロハンを貼って仕上げ、光を通すと様々に変化する光の様子を楽しめるという工作である。参加者は親子で協力しながら作っていた。	40分

●授業の様子

本講座は、地区の歴史を学ぶ講座終了後に、参加者の入れ替えなしで始められたため、講座の内容を知らないまま聴講した人もいたと思われるが、用意された席は子どもたちで埋まり、大人はその周りに立って聴講していた他、途中から参加する人もあり、全体的に賑やかな雰囲気が進められていた。「光の小箱づくり」では、途中、工作に苦勞する様子も見られたが、完成すると子どもたちは楽しそうに小箱をのぞき込んでいた。当初の想定では、主たる参加者として親子を見込んでいたが、高齢者の参加もあり、子どもたちに混ざって工作を楽しんでいた。

地球温暖化の原因や仕組み、影響について学んだ。



「光の小箱」を作成した。

